

閉上地区まちづくり協議会 第3回臨時総会（第二部） 議事録

| | |
|--------|---|
| 日 時 | 平成 27 年 8 月 1 日（土） 10:00～11:30 |
| 場 所 | 名取市文化会館 3階小ホール |
| 出席者 | 出席会員数：26世帯 委任状提出会員数：118世帯 世話役7名：（代表）針生勉、（副代表）阿部ひで、（副代表）今野義正、宇佐美久夫、格井直光、今野慎介、（事務局長）南部比呂志 （事務局）コンサルタント7名 |
| オブザーバー | 仙台高専 坂口先生、学生4名、市職員4名、神戸まちづくり研究所1名 |
| 報道機関 | NPO法人エフエムなとり、株式会社東日本放送、河北新報社、公立大学法人宮城大学、仙台シンフォニエッタ、日刊建設工業新聞社、有限会社居住環境研究所 |
| 協議事項 | 議案1 閉上地区まちづくり提案書 第四次提案 |
| 資 料 | 資料-0 次第 資料-1 閉上地区まちづくり提案書<第四次提案> 資料-2 名取市復興事業計画位置図 資料-3 公園緑地計画づくりの方針案 |

○第二部意見交換会の経過概要

（第3回臨時総会（第一部）閉会后、神戸まちづくり研究所の辻氏より、公園部会の設置のお知らせと、意見交換会を行った。）

1. 公園部会設置のお知らせ 【進行：神戸まちづくり研究所 辻氏、世話役 今野慎介氏】

司会 第二部は、進行を神戸まちづくり研究所の辻さん、世話役の今野慎介さんをお願いしたい。

辻 閉上地区まち協では、着々と計画、話し合いが進んでおり、大変喜んでいる。いま公園についてまち協世話役と話していることを紹介し、ご意見を頂きたい。また、なかなか聞きづらいと思うので、ざっくばらんに意見をお聞きする機会としたい。

辻 （公園緑地計画づくりの方針案の説明）

辻 質問等あればお願いしたい。

出席者 1 閉上にある水資源を活かし、水力発電を兼ねた水車があれば災害時にも活用でき良いと思う。

辻 すごいアイデアが出てきたが、水力はどこにあるのか、そこから考えなければならない。それが実現可能かどうか、今ここでは議論できない。水が川にあるが、水が使えるのかどうか、一緒に考えながらやる。そこに専門家にも来てもらって、水源をどうするのかとかなど、話をしていきたい。具体的な答えについて、いまここで議論せず、みんなで決めていくことになる。

出席者 1 専門家とはどういった専門家か。私は大学で工学や都市環境デザインを専攻している。

辻 公園緑地の専門家となる。是非とも参加してもらい、いい勉強になるだろう。まち協では、中央公園は地区運動会ができるような公園が良いと言っていた。5000㎡くらいの公園

だが、真中に大きな遊具があると、運動会はやりにくいねということぐらいが、ぼんやり聞いている。それでは、もう少し具体的にどうしていくんだと、というようなことになっていく。やっていたら、きっと楽しいことになる。

今野 中央公園と、その北側に公民館ができることは決まっている。昔の閑上で公民館の所で地区民運動会をやっていた。そういう部分で我々のイメージは、中央公民館の所で、運動会、盆踊りがすぐ思い浮かぶが、みんなはどう思うのか。災害時に役立てるの広場とするか、行事に活用するのか、散歩などに使えるものにするのか、今後の話し合いになる。場所によって変わってくるが、メインは最初に中央公園となる。言うだけはただだ。みんなです話し合って行政にぶつけていく。お茶を飲みながらお菓子食べながらまとめていきたい。

辻 今誰もどういう公園にしたいというまとまった考えがない。途中経過をニュースでお伝えしながら、ワークショップに参加できない方でも役員等色々ルートを通じて意見を出してほしい。丁寧にやっていると皆さんがご理解頂ける公園となる。私は神戸の公園について、十数箇所お手伝いしてきた。参加者はできあがった公園に愛着を持ってもらい、そういう所からまちが良くなっていく。公園はみんなの空間で有り、みんなで作って、みんなで維持管理できれば良いものになっていく。

2. みなさんのお困り事を聞かせてください 【進行:神戸まちづくり研究所 辻氏、世話役 今野慎介氏】

辻 みなさんこんなこと知りたいのでは？ということ貼り紙のようにまとめた。これらで聞きたいことがあれば、その項目にシールを貼ってもらいたい。一人三枚ずつ。知りたいランキングをみて、今後の対応も検討できる。また特にお願いしたいのは「その他」であり、思いつかないことも付箋紙に書いて貼ってもらいたい。

出席者 (出席者がシールを貼る。結果は下表参照。)

辻 一番多いのは、「病院など医療施設ができるのか」。次に「どんな店ができるのか」「バスは走るのか」日常生活の利便性がすごく気になっている。高齢者が病院へ行くことや、買い物は遠くまで行くのは大変、バスがあると便利ということだ。「盛り土の安全性」も気になっている。あと、「郵便局や銀行はできるのか」、「換地、移転先団地、いつなの」というのが気になることだ。換地は一遍には利用できない、工事の段取りによる。「その他」は、「閑上の全体模型はいつできるのか？」市は返事できるか。まち協には金がない。市とまち協で話し合ってもらいたい。また「震災遺構体験をどう可視的に示すのか」というのがある。まち協として考えたことはあるか。

今野 関連的には、まち協の在り方ができあがった以降に考えていく必要がある。話が合った場合にはまち協として対応しているが、それ以外は考えはない。

辻 南三陸では防災庁舎があるが、まち協での話ではないかもしれない。神戸であったのは慰霊碑。神戸ではすべて寄付でまかなった。公園に置くことなども可能だし、将来考えていくことになる。「新しいコミュニティづくりはどうするのか」という意見もある。

今野 まちができれば自ずと考えていくことになる。町内会は必要だし、そのときの考え方になる。

辻 知らない方が隣近所になる可能性もある。住宅地のあり方によって変わってくる気がする。誰がどこに行くのか決まった段階から考えていくことになる。分かった段階でおちゃっこするなども考えられる。

- 辻 「各地をカバーする二次防衛ラインがなぜ連続していないのか」
- 今野 県政報告の県議会議員への質問だろう。主旨をまち協として理解していない。これは市への質問であるべきかなと思う。まち協に何か言って覆す次元ではないと思う。
- 辻 名取市だけでなく全体として大事な話だろう。行政の壁があるとしてどうするのかを問われるのだろう。ただまち協で議論する余裕はないので、別途でお願いしたい。
- 辻 「貞山運河との関わりはどうなるか」中央緑道を貞山運河までつなげるという話はあったが、これはまだ計画でない。大事な要素であり、大きな土地利用の中で海岸部を含めて地域の構造がいずれ明らかになるだろう。そこをまち協としては注視しているという状況だ。
- 辻 今の話は、ワークショップの手法だ。これまでは会議に「参列」していたが、今日は意見を言って頂き「参加」してもらった。部会には「参画」となる。是非、参画して頂くようお願いする。
- 司会 資料の計画図の説明を代表世話役から説明してもらおう。
- 針生 A3の地図は市が現在進めている事業に関する資料であり、市からの提供資料である。資料は、計画と構想が一緒になっている。
- 司会 以上で本日予定は終了である。世話役会でもお茶目的でも結構なので、参加してもらいたい。ありがとうございました。以上で、本日は終了する。

以上

閑上地区復興まちづくり・聞きたいこと（シール貼付）

| 聞きたいこと | 人数 |
|---|----|
| 災害公営住宅はいつ完成して入居できるのか | 1 |
| 移転先団地はいつ完成して入居できるのか | 3 |
| 換地はいつもらえるのか | 2 |
| バスは走るのか | 6 |
| どんな店ができるのか | 7 |
| 病院など医療施設はできるのか | 9 |
| 郵便局や銀行はできるのか | 4 |
| 盛土地は安全なのか | 5 |
| まちはどんな順番にできるのか | 3 |
| 公民館はどんなものになるのか | 0 |
| 小中一貫校や幼稚園・保育園はいつ開校するのか | 2 |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自己体験、自己観察に勝る教訓はない。後世のための震災遺構関係をどう可視的に具現的に示すか。 ■ 新しいコミュニティー作りはどうやっていくのか。具体的に。 ■ 閑上の町全体の模型はいつできるのか。 ■ 県会議員 石川利一の、各市をカバーする連続した二次防御ラインができなかったことについて。 ■ 貞山運河との関わりはどのようなになるか。 | 5 |